

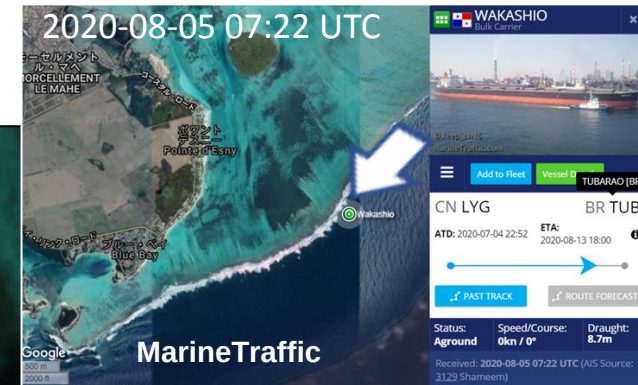
YACかわら版 第70回

貨物船座礁 重油流出

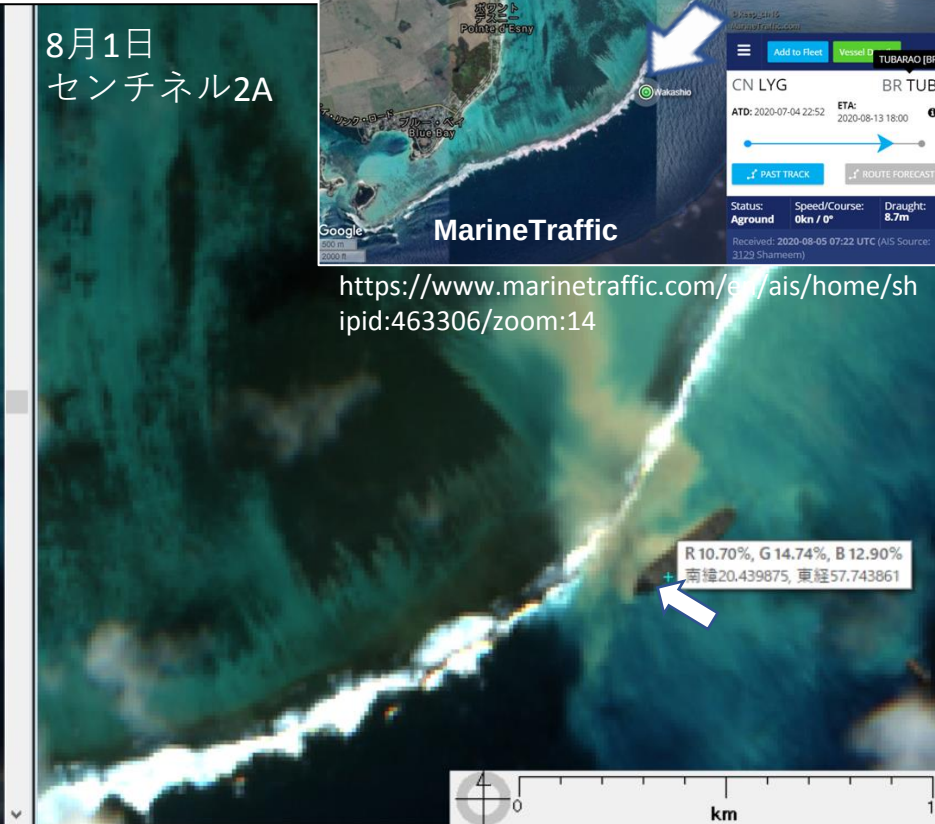
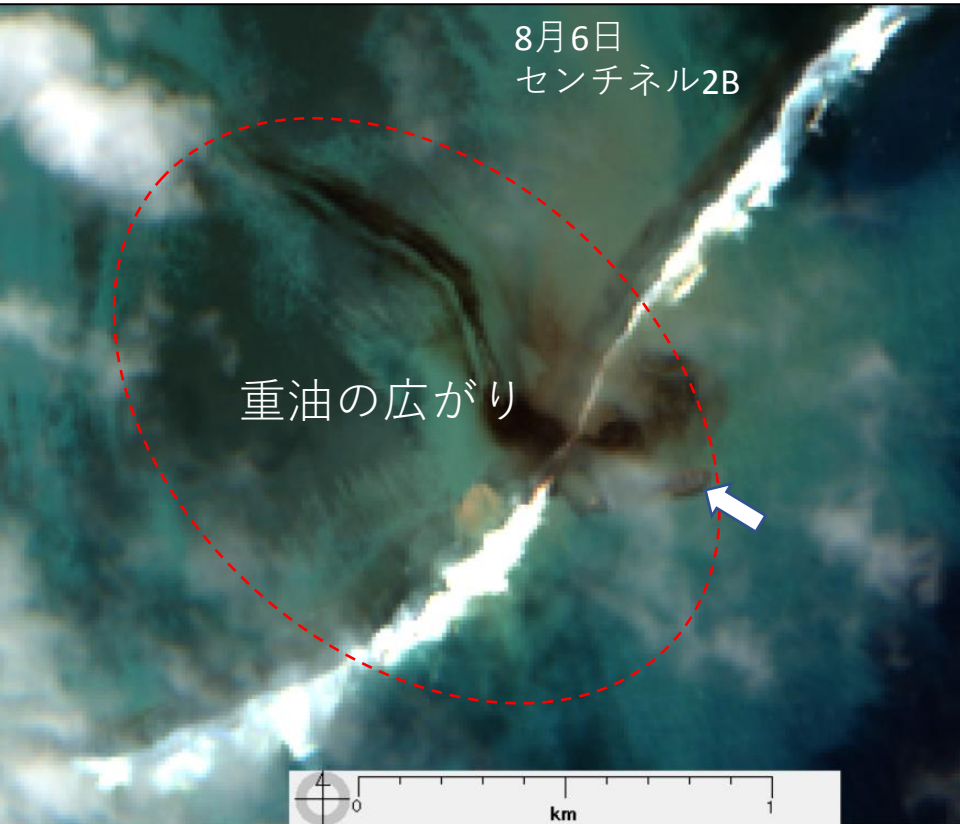
8月11日配信



7月26日、パナマ船籍で日本の会社が用船するバラ積み貨物船「わかしお」が、**中国連雲港** (れんうんこう) からシンガポールを経由して**ブラジルツバロン港**に鉄鉱石を積むために向かう途中、インド洋の島国モーリシャスの沖合で座礁 (ざしょう) した。貨物船が使用する燃料タンクから重油が流出した。流出した海域はサンゴ礁 (しょう) ときれいな海が世界的に有名。座礁とは、船舶が浅瀬に乗り上げ、動けなくなること。「わかしお」は2007年に建造され、総トン数10万1000トン、載貨重量トン数が20万3000トン、全長299.95メートル。なお「わかしお」乗組員の方は全員救助された。国際的な流出重油除去作業が開始されている。



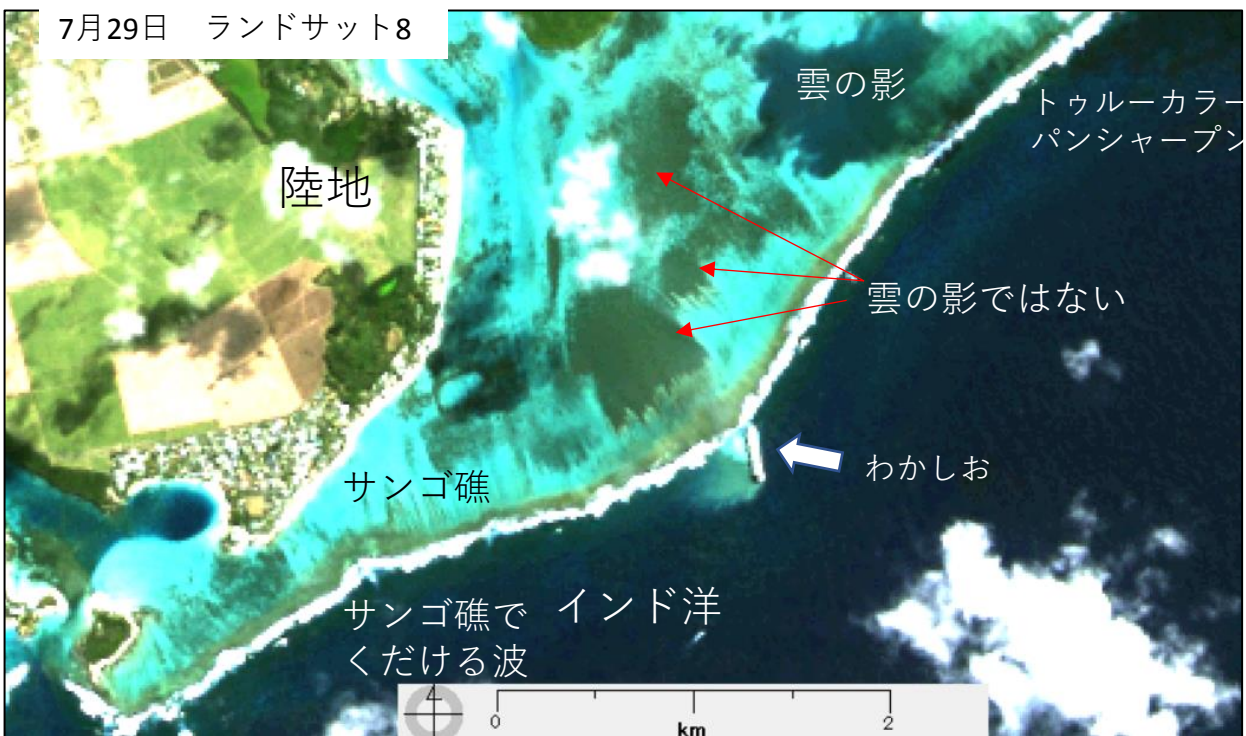
<https://www.marinetraffic.com/en/ais/home/shipid:463306/zoom:14>



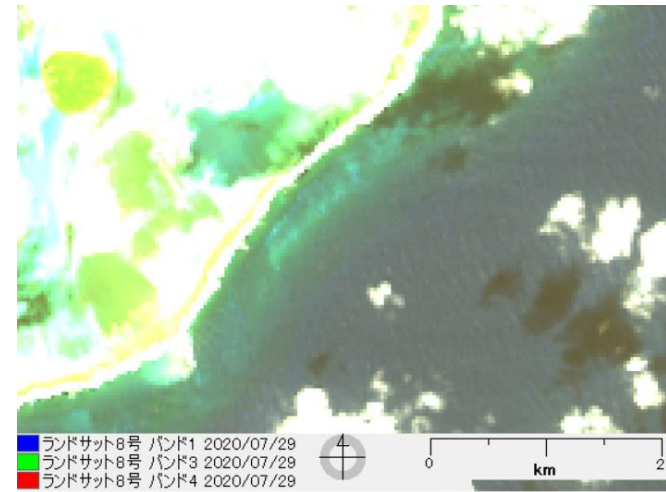
サンゴ礁の中で広がっている 船は後半部が見えにくい

重油の流出は見られない

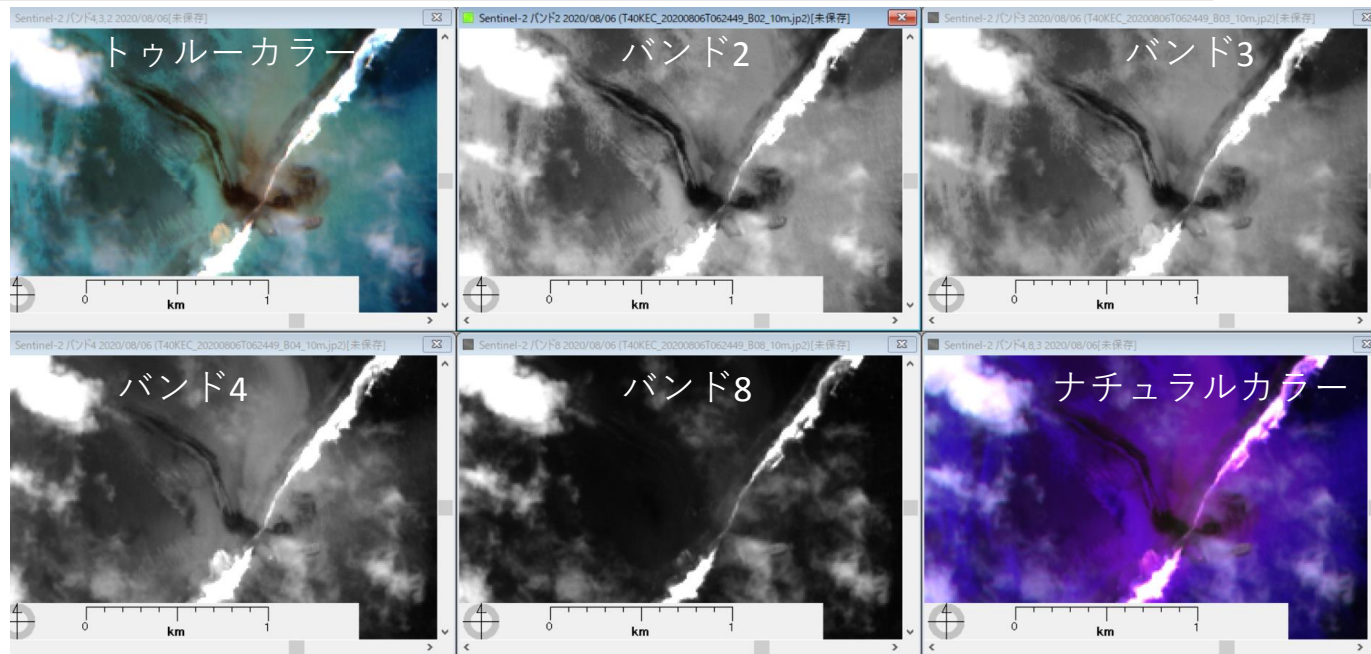
7月29日 ランドサット8



1バンドを用いると
海面下の様子が少し見える



8月6日
センチネル2B



重油の広がりや、バンドによって見え方が異なります。近赤外の8バンドでは判別できません。天候や油種により見え方の違いもあります。

参考

衛星画像による流出油の検出－
Photoshopによる画像解析

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIJUTSUKOKUSAI/KENKYU/report/tbh23/tbh23-14.pdf>